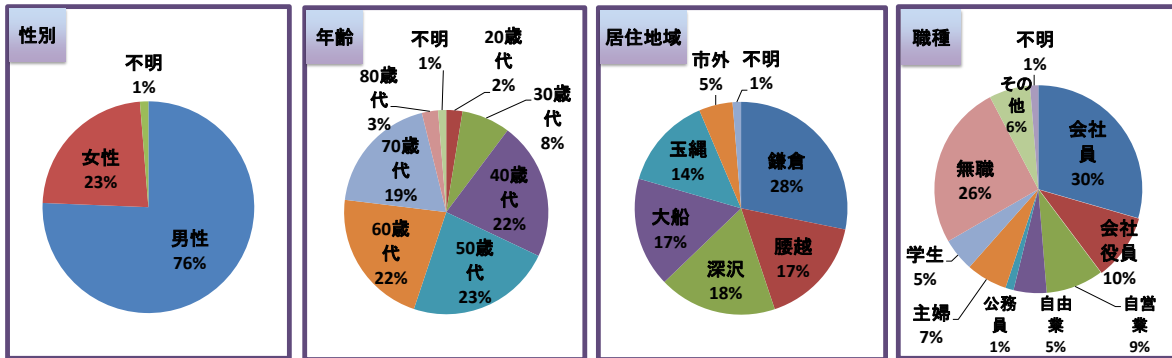


第16回市政e-モニターアンケート集計結果

【テーマ】 ごみ問題について

アンケート送信日 平成25年10月15日（火）（未着者再送10月16日（水））
 アンケート実施期間 平成25年10月16日（金）～10月28日（月）
 送信者数 259名（着信者数255名）
 回答者数 78名
 回答率（対着信者数） 30.1%

【今回の回答者の基本属性】



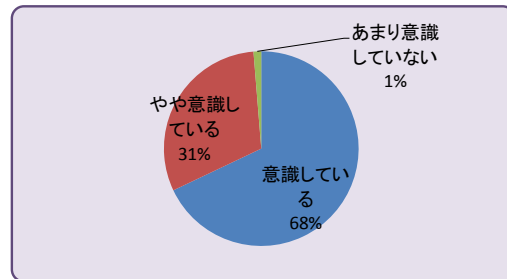
●質問1 ● 日常生活の中でごみの減量をどの程度意識していますか？

	(名)
1 意識している	53
2 やや意識している	24
3 あまり意識していない	1
4 意識していない	0



《資源循環課から》

本市では、ごみの発生抑制を第一に「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指しております。ごみの減量に多くの方がご理解いただいていることに感謝いたします。



●質問2 ● 本市のごみの分別についてどのように感じますか？【自由記載】

- 必要なことゆえ、面倒とは思わない。
- ごみの分別は、減量・資源化・エコ等に必要だと思う。
- ごみの分別は重要。鎌倉市はよく取り組んでいると思う。
- 細目が細かく、ゴミの減量、リサイクルを意識したものになっていて良い。
- 情報の公開が、比較的オープンであると感じている。
- 分別になったので特に問題はないと思う。
- 適切に運営されている。
- 現状の分別方法でよいと思う。
- 鎌倉市のごみの分別率は非常に高いと聞いたので、現状維持出来たらいいと思う。今の政策で問題は無いように感じる。
- 多少の分別負担は感じるが、3R推進のためには必要な作業であり、この程度は分別しないと後工程の選択肢を考えられないと思う。
- 全市、市民及び事業者が真剣に取り組んでいます。ぜひ、解決しなければならぬ。
- 鎌倉市民の意識は非常に高いため、ゴミ分別への取り組みは相当徹底して行なわれていると思う。
- 水分の多い生ごみを「燃やすごみ」とせず「生ごみ」とし、堆肥化やバイオエタノール化などすれば、より焼却ごみの削減効果が上がるように思われる。
- 特に事業ゴミは徹底して欲しいと思う。また観光客が捨てるゴミについては、持ち帰るようなポスターが必要と思う。
- 他の地域と同じレベルだと思う。
- 他市に比べて、分別は早い段階から徹底されている。これ以上の分別は厳しいと思う。ゴミを減らす必要があるのはもちろんだが、現在の状況では、消費者側ではどうにもならない場合も多い。焼却炉がもつと量に対応できるような検討は必要。
- 他の自治体に比べて進んでいる。しかし、こここのところ、分別の比率が上がっていないのは、現状が限界かと思う。
- プラスチックを分別するようになって、こんなに生活にプラゴミが出るのを実感。よかったと感じる。
- 更に細分化している他自治体もあり、鎌倉市民が順応できるはずであろう。資源区分の更なる細分化が有効なら実施しても支障はない。
- 東京都23区に比べ、しっかりできていると思う。戸別収集も始まり、もっと細かく区分けても良いものと思う。
- ごみの分別処理はかなり徹底してやっている。しかし意識の低い市民が結構居ることは嘆かわしいことである。
- ①「分別が行われていないゴミ」が発生したステーションは一定の猶予回数を設け、それでも改善されない場合は個別収集に移行する。②個別収集になった一定期間、「分別が行われていないゴミ」が発生しなければステーション方式に戻す。③個別収集になったら、他のステーションに投棄する事。他に収集業者の煩雑化もあるが…どちらにせよ「不屈き者」は断固たる姿勢で臨むべき。
- 今後、戸別回収を進めていくのは、良いことだと思う。ただ、誰かが他の人のところに不法投棄した場合の対処方法も検討してほしい。
- 住民意識も高く、分別は進んでいると思う。ただ、燃えるゴミに20%超の資源ゴミが混入していると聞くと判断に困るものがあるのではないかと思う。混入内容を具体的に示して公表すればさらに分別率も向上すると思う。

- ・ごみの減量化のためには、まだまだ分別を進めて行くべきだと思う。分別をしない人には、厳しく管理して罰則を設けるなどの措置を取るべき。
- ・他市と比べると細かい気がするが問題ないと思う。
- ・仕事は都内でして、他市のごみ分別の話を知ると「鎌倉市は細かいですね」と言われる。その通りだと思う。
- ・横浜市のゴミ分別は一般、カン、ペットの3区分なのに鎌倉市のゴミ分別は多すぎると思う。聞くところによると調布市、小金井市など指定袋やシールが1枚目から有料となる仕組みで分別はないとのこと。鎌倉市も戸別収集・有料化をするのなら分別はなくすべき。
- ・細分化すれば良いというわけではなく、必要に応じて実施する。
- ・細かいところは細かすぎ、アバウトなところも多い。
- ・分別が役に立っているか疑問。分別ごと業者に頼んで、更に詳細分別にしたら業者が増えるばかりでどうかと思う。
- ・ゴミの減量化につながるのか疑問。コストアップが懸念される。
- ・分別は必要だがそのための広報活動が極めて拙劣。もっとわかり易く説明しなければ市民の協力はこれ以上無理と思う。担当部課の「知恵」が足りない。
- ・ミックスペーパーは紙袋に入れて捨てることになっているが、その紙袋がない。市役所にもらいに行く時間も無い。結局普通ゴミとして捨てざるを得ない。
- ・紙、ペーパー等、一部分かりにくい部分があるが、概ね妥当と思う。
- ・プラスチックごみと燃えるごみとの区別が難しいと感じるが、分別に努力している。
- ・分別の詳細がわかりづらく、職場では「ちょっと待って！そのゴミここに捨てる？」とゴミ箱にお菓子屋などラベルを貼り付けてわかるようにしている。面倒だし大変、徹底分別は難しいと思うが、それに少しでも近づけるようにしたい。
- ・ペットボトルのラベルは剥がさなくてもよいと理解しているが、剥がしている方が多く見受けられる。
- ・基本的に問題ないが金属資源をアルミ缶、スチール缶のみでなく、銅、鉄などの個体も不燃ごみ扱いでなく分別すべきだ。
- ・分別についての意識は大有ると思うが、生ゴミの削減意識が必要と思う。
- ・回収時・後の処理を行うコスト削減のため必要と考える。一方で、物品や消費材の包装、容器、ついているラベルや、汚れたものなど細かく分別するのは不可能。分別に迷うこともある。市民の両方のコスト下げるには、メーカーや販売業者が、包装紙や容器などをもっと分別しやすくするべき。さらに、水やその他の資源を浪費しないで廃棄できる方法を考える必要があると思う。
- ・市内の施設で燃やせるものを分別することは有効と思う。つまり目的、何のための分別化ということをはっきりさせたいと思う。
- ・プラの分別がどの程度再利用されているのかよくわからない気がします。
- ・収集日を、容器包装プラスチックは週1回から2回程度へ、燃えないごみ・危険・有害ごみは月1回から2回程度への増加の検討が必要。
- ・今後、ごみの種類や処理の仕方が変わった場合に、ごみ処理トータル環境負荷や処理費用等を勘案して見直す必要がある。
- ・問題は、分別の精度（故意ではなく、別の種類のごみを入れる）とポイ捨て（意図的に別区分のごみを混ぜる、ごみ収集場所ではない所に置く）ではないか。
- ・ゴミセンター持込代高いが現状でよいと思う。
- ・他市に比して対応がいつも後手に回っている
- ・函館市は10数年前より分別収集をしている。同じ海あり・山ありの都市なので、参考になると思う。
- ・ゴミを焼却処理することに対して、環境汚染の可能性を感じています。鹿児島県志布志市のモデルはかなり先進的で、効果的な取り組みをしている。



《資源循環課から》

日頃より、ごみ、資源物の分別にご協力いただきありがとうございます。
現在、新焼却施設建設を検討していく上で、サーマルリサイクルの検討を予定していることから、現在の分別区分について、コスト、環境面、また今までの本市のリサイクルの歴史等を勘案し、検討しているところです。

●質問3 ● ごみの減量やリサイクルを進めていく上で、有効な取り組みだと思われるものをお答えください。（複数回答可）

		(名)
1	買い物袋を持参し、レジ袋などはもらわない	42
2	過剰包装は断る	54
3	使い捨て商品は買わない（紙コップや割りばし等）	35
4	同じ商品であれば包装が少ないものを選ぶ（詰め替え商品や量り売りの食品）	45
5	食べ残しをしない、または少なくなるよう料理・食事を工夫する	49
6	生ごみの‘水切り’を徹底する	33
7	資源物として指定されたものについて、分別を徹底する	55
8	生ごみ処理機を利用する	25
9	その他	12

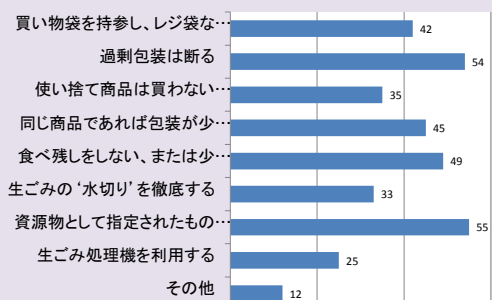
《その他、回答者からのご意見》

- ・必要なものしか買わない
- ・生ゴミは庭に埋めている
- ・生ごみ処理機は、検討中。
- ・見回り、声かけ（賛否両論有るが）。
- ・食品の包装なしで購入できるシステムの構想。
- ・小・中学校での意識教育。
- ・1は、現在かなり普及していると思う。
- ・2は、メーカーや小売り側の意識改善が必要。
- ・生ごみ処理機を何台も利用したが壊れやすく、長続きがしなかった。
- ・レジ袋は種々再利用が可能なので、レジ袋廃止をしても、ゴミを捨てる時、他のビニール袋を使用するので、本質的な解決策ではない。レジでビニール袋を有償にしているのは反発を感じる。
- ・焼却ごみを減らす、という観点に絞って、市民に協力を要請することをもっとはっきり広報する。
- ・町内会ごとに集積的生ごみ処理機を置く。
- ・ゴミ減量ビデオの配布など、より強力な手段によって、ゴミ減量の意識を各家庭に徹底させる。
- ・不屈なゴミ発生者にペナルティを課す。
- ・特になし。



《資源循環課から》

生ごみの80%が水分であることから、今後、生ごみの‘水切り’の推進を一層進めていく必要があること、また、例示した取り組みについては、いずれも概ね有効であることがわかりました。



●質問4 ● 市内に2か所ある焼却施設のうち、今泉クリーンセンターの焼却施設については、平成27年3月末をもって焼却停止となることをご存知ですか？

		(名)
1	はい	66
2	いいえ	11

1名コメントにて回答

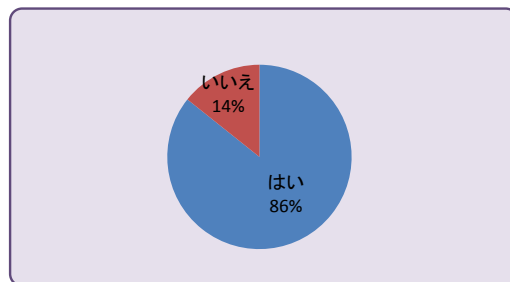
《その他、回答者からのご意見》

- ・ 停止の経緯を聞いて、なぜそのようなシミュレーションにしたのか驚愕です。無理に半減することができると判断したこと。
- ・ 償却設備の更新がなぜできないのか。別の場所への新設は難しいので、既設の設備を何とか継続または更新できたらよいと思う。
- ・ 地域住民と当時の市長の安易な停止約束が問題だ。
- ・ 停止は知っているが理由は知らない。



《資源循環課から》

今泉クリーンセンターが平成27年3月末で焼却を停止する経緯ですが、平成10年度に「ごみ半減化計画の前倒し」を決定した時に、今泉クリーンセンターの焼却停止を計画しましたが、半減化計画が達成できなかったことから、今泉クリーンセンターでの焼却を継続することとなりました。ダイオキシン対策工事が終了し、平成17年から再稼働となりましたが、その時、地元住民と再稼働後の焼却期間は10年とのお約束をしてきたところです。



●質問5 ● 今泉クリーンセンターの焼却停止により、本市全体の燃やすごみの量を3万トン以下にする必要があり、そのためあと8千トンの燃やすごみの削減に取り組んでいます。ご存知でしたか？

		(名)
1	はい	63
2	いいえ	15

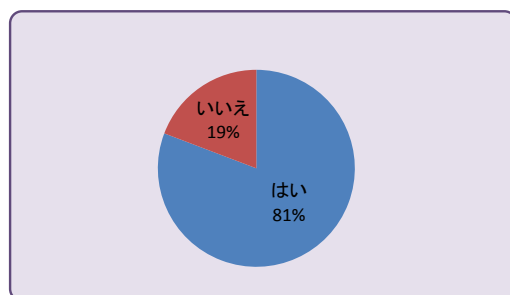
《その他、回答者からのご意見》

- ・ 最近聞きました。
- ・ 市の広報活動が弱すぎる。
- ・ 物理的に他の手段が無い。
- ・ 今までのゴミ量は適正でなかったで、今泉を廃止、また、耐久性が維持できないので廃止。わからない。新しい焼却施設は作れないのか。作る金がないのか。



《資源循環課から》

多くの人に承知していただいていることがわかりました。市民の皆様のご協力なくしては、ごみの減量は図れないので、今後も周知に努めてまいります。



●質問6 ● 8千トンの減量施策の一つとして、平成26年7月から戸別収集・有料化の全市実施を予定していることをご存知ですか？

		(名)
1	はい	75
2	いいえ	3

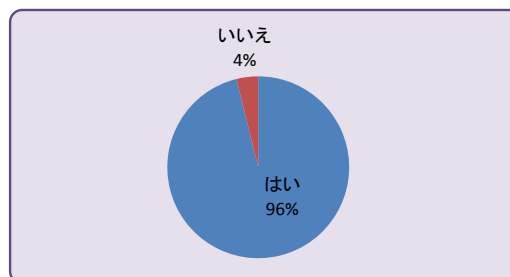
《その他、回答者からのご意見》

- ・ 再検討を要請する。
- ・ 唐突で計画性がない。
- ・ 知っているが有料とは。作業員の手間も大変ですね。紙おむつは無料と聞いたので、ゴミは極力出さないようにし、今のうち家のガラクタ処理をしようと思う。



《資源循環課から》

市民の皆様に関わることで、十分な周知が必要と考えておりました。9割以上の方がご存知とのことですので、一定の周知は果たせたと受け止めました。



●質問7 ● 戸別収集・有料化の全市実施に向けて、6月から9月にかけて市主催の説明会を開催しましたが、開催したことについてご存知でしたか？

		(名)
1	はい	59
2	いいえ	19

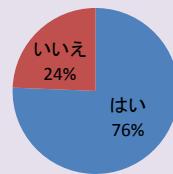
《その他、回答者からのご意見》

- ・説明会に参加した。
- ・多分、見ていると思うが忘却している。
- ・極楽寺在住ですが、説明会の実施の全日程終了後に回覧板が回った。掲示板などへの掲示も特に見かけなかった。今後はネットを活用しない人のためにもっと大きく告知すべき。



《資源循環課から》

市主催の説明会の周知は、広報かまくら、ホームページ、ポスター、町内会回覧等で努めてまいりましたが、まだまだ、周知が必要だということがわかりました。



●質問8 ● 問7で、「1 はい」と答えた方にお伺いします。どのような媒体で説明会の開催をお知りになりましたか？(複数回答)

		(名)
1	広報かまくら	48
2	ホームページ	13
3	フェイスブック・ツイッター	9
4	ポスター	6
5	市役所本庁舎に設置されているモニター広告	3
6	町内会の回覧	28
7	その他	6

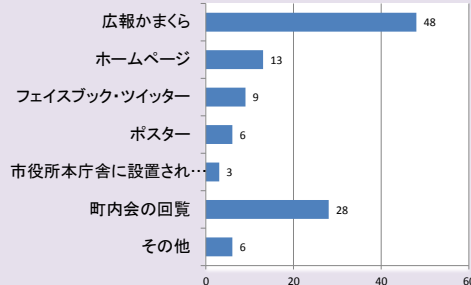
《その他、回答者からのご意見》

- ・市長、市議のチラシやHP、TW、FB。
- ・このアンケートのメール。
- ・自治会・町内会の連絡掲示板。
- ・チラシ、説明書。
- ・ごみ処理機の販売などにボランティアとして取り組んでいる友人から。



《資源循環課から》

6月、7月の説明会では広報かまくら、特集号等で開催周知をしてきました。9月に自治会・町内会宛に回覧を依頼したところ、問合せ等を多くいただきました。アンケート結果からも、広報かまくら、町内会の回覧は周知に有効だとわかりました。



●質問9 ● ごみ処理へのご意見がありましたらご記入ください。【自由記載】



- ・生ゴミの水切りにいい方法があれば教えて欲しい。

⇒生ごみが水分を吸うのを防ぐためシンク内に生ごみを置かないようにしたり、水に濡れた場合は捨てる前に軽く振ったり、ひと絞りとすると効果があります。

- ・藤沢市は靴などは燃えないゴミだったと思う。鎌倉はこれも燃やしてしまうのでゴミが減っていいと思う。
- ・店側も肉などのトレイを付けるものと付けないものを売る努力すべき。それによりなくてもいい商品が分ると思う。そのように売っている店はある。
- ・お金を掛けるなら戸別収集より焼却した熱利用による発電により高い電気料の東電は避けるとか温泉施設を運営するシステム等を検討すべき。
- ・平均的に画一的に全体で減らすのではなく、多い市内の飲食店のゴミの有料化を至急、高有料化で実施すべき。
- ・観光税を取って観光客の持込みゴミ代にする。
- ・八幡宮拝観料・ハイカーから天園コースなどの入山料、団体ハイカー(十人以上)の事前登録と団体観光料を徴収(観光業者と連携)。有料化に伴う募金箱を駅正面に設置。
- ・基本的に単に「減らせ、減らせ」というだけではだめで、もっと市の広報活動をうまくやらないといけなく考える。市民をどのように導くかについて、知恵を絞工夫することについて、市職員の奮起を期待する。



⇒広報、HP、ポスティング等さまざまなツールを用いて啓発活動を進めておりますが、十分な周知にいたらないのが現状です。今後も、他市の事例等を研究しながら、啓発、周知に努めてまいります。

- ・戸別収集・有料化の実施の前の検討段階を知らないで、やるということになったらやらざるを得ないと思う。実施の方向の話だけでなく、議会で反対されているのでそちらの意見も併せて市民の判断を仰ぐべきだと思う。
- ・有料化により、財政が多少なりともプラスになるのかと思っていたが、実際は、財政からの支出が増える事に疑問を感じた。有料化への実施までの検証期間が短すぎて、有料化ありきで事が進められていると思う。有料化以外にいくつかの方法を数年掛けて、平行して各検証するのが普通だと思う。



⇒焼却量を3万トン以下にするため、8,000tの減量施策に取り組んでいます。8,000tの削減に向けた取り組みとして、戸別収集・有料化で3,500t、事業系ごみの分別徹底及び処理手数料の改定により2,500t、その他、発生抑制への取り組みで1,500tとさまざまな施策を組み合わせて減量に向けて目指しております。

- ・石川県小松市では、生ゴミを干すということを習慣化させ、成功しているようだ。マンションなどでは無理かと思うが、鎌倉市は庭付き戸建ても多く、生ゴミ処理機がなくても試せると思う。小松市を参考に、鎌倉市にも根付かせてほしい。我が家では、生ゴミをすべて庭に穴を掘って埋めている。

- ・ごみ袋を所定の袋しか使用できないと、スーパーの袋を再利用できず、ゴミを捨てるだけの袋にお金と資源を使うという無駄が発生する。ゴミの袋を自由にし、現在の有価回収のようなステッカー張り付けシステムを実施すべき。
- ・戸別回収に賛成します。推進よろしく願い致します。
- ・現在の施策を進めてください。
- ・ごみ、資源の削減策には生ゴミの戸内処理や、分別回収の更なる徹底が必要。意識喚起には有効でも実質的な減量には効果がほとんど期待できない努力もある。既に回収率が全国トップレベルの鎌倉が、今後どれほど有効な施策を打てるかが先にないと破綻は免れないと危惧する。



⇒家庭系ごみの有料化は減量効果が期待できるというデータが先行市の事例からも証明されています。リサイクル率は全国トップレベルではありますが、家庭系の燃やすごみの組成調査をすると、重量ベースで約25%が資源化できる紙類や容器包装プラスチックが混入しています。戸別収集・有料化を導入することで、資源物が適切に分別されるとともに、ごみそのものの減量につながるかと考えています。家庭用生ごみ処理機の普及、水切りの推進等啓発にも引き続き努めてまいります。

- ・不法投棄が起きないようにしてほしい。
- ・焼却施設の新設は出来ないのか。



⇒平成25年8月に新焼却施設建設に向けた基本計画を策定するため、廃棄物減量化及び資源化推進審議会及び生活環境整備審議会に新焼却施設のあり方等について諮問しました。

- ・戸別収集は、業者・各家庭にとって負担が増える。その効果をお互いがよく認識して実施を検討したい。
- ・ゴミの処理能力ありきの減量政策は反対である。そもそもあと8千トンが減らせ得る数値なのか。市が回収しなければ、それが不法投棄になって、全体として世の中にとってマイナスになるのではないのか。
- ・ごみの戸別収集・有料化を実施しても、結局は市民の意識的な分別に依存することから、必ずしもごみ削減効果が上がるとは思えない。ましてこの10年間で2,000トンしか削減できていない状況で、約1年半で残り8,000トン削減するのは非現実的であるとする。今更ながら今泉クリーンセンターの継続使用(地元の非難は避けられないでしょうが)も視野に入れた方が、現実的なごみ処理を実現できるかと考えます。また、アンケートの設問(特に6、7)ですが、実施することを知っていますか?よりも「実施によって効果が上がると思われますか?」という設問を加えた方が、より市民の本音が聞き出せると思う。

- ・戸別収集・有料化はまちなみ景観を非常に損ねる恐れがある。需要者に一方的に負担させるのでなくて、供給者のメーカー側に過剰包装をしないよう、国を挙げて声を高める事が資源問題解決のベースではないか。

- ・有料化は、ゴミ減量に有効だと思う。
- ・余剰8千トンの減量が達成できなかった場合の緊急措置を今から検討しなければならない。今泉クリーンセンター稼働停止後の施設活用方法等検討すべき。20～10数年前から、今泉クリーンセンター施設稼働停止運動をしていた人達は、転勤・転居等で鎌倉市から出て行った。それでも今泉施設をスクラップにするのか。



⇒今泉クリーンセンターの焼却停止については、平成16年3月に今泉クリーンセンターの稼働期間は改修後長くても10年、平成25年頃までの稼働を目標とするとこの覚書を締結し、平成24年7月に地元町内会と平成27年3月末をもって焼却施設の稼働を停止するという確認書を締結しています。

- ・事業ゴミの分別収集、公共施設のゴミ箱は分別可能なように分りやすくすべき。徹底されていないところが散見される。



⇒事業系ごみの分別については、平成25年1月から、搬入時に分別指導の強化を行っています。その結果、事業系ごみについては削減効果がでていますが、公共施設のごみ箱については、その施設を利用したときに生じるごみを想定し、必要最低限の数とさせていた定めております。

- ・マンション人口が多い大船地区のゴミをわざわざ旧鎌倉地区名越に運び込むことが疑問。大船地区のゴミは大船地区で処理すべき。
- ・観光客に迷惑している市民からすれば、観光客や観光客相手の商売で利潤を得ている市外の業者のゴミの弊害が市民のゴミ有料化の原因になることはおかしい。ゴミ増大の原因をなぜ税金を払っている市民が負担しなくてはならないのか。まずは市民以外の出すゴミを徹底的に排除することが必要。市外が本部の店舗は別途ゴミ処理料金上乗せ納付、観光客へは鎌倉観光税、美観税でも導入すべき。市がマンション建設の許可、観光客の誘致を積極的に行っている以上は責任を取るべき。



⇒観光客等を対象としている業者のごみは、事業系ごみとして処理をしています。事業系ごみの削減に向けた取り組みとして、平成25年1月から搬入されたごみの分別指導の強化を実施しており、一定の削減効果がでております。

- ・戸別収集は反対。収集のための人件費の増大は大きく費用対効果のコストパフォーマンスは得られない。有料の分別袋の代金で賄えるものではない。収集人に庭先に入られるのはお断りです。

- ・有料で透明の分別袋に世帯番号を記入させ、今迄通りに収集すれば減量できる。世帯番号を記入させれば不埒なごみ出しをする者もなくなると思う。有料袋、荷札は10枚組位で、市役所、町内会経由、市内のコンビニ等で販売する。世帯番号のないごみは収集しないことを徹底する。間違えて出しても本人が引き取ることになる。資源ごみにも世帯番号をつける荷札を付ける。ミックスペーパーには付けなくてもよい等の規定を設ける。

- ・業者のごみ減量をもっと厳しくする。条例化して、罰則規定を作って徹底する。

- ・バイオマスを導入して、成功させ、鎌倉市が全国に先駆けて範を垂れる。



⇒平成27年度以降、名越クリーンセンター1か所での焼却を予定しており、現在、延命化工事をおこなっておりますが、延命化工事後については、約10年の稼働を見込んでおります。そのため、名越クリーンセンターに替わる新焼却施設の建設が急がれることから、まずは新焼却施設の建設に向けて取り組んでいきます。

- ・処理施設を縮小することを理由にゴミの減量を市民に課すことに少し無理があるように思う。ゴミを少なくすることは必要であり、その意識を高めること必要だが、その方法は戸別収集や有料化だけではない。市内店舗などの特にバック類など重量の大きい包装に関して規制を設ける、あるいは量り売りも徹底するなど有効と思う。また、どうしても市内で処理能力がないとするならば、市外で処理する場所の中で明示する中で市民に対してゴミへの意識を持ってもらうことになる。ゴミの問題も、利便性だけを考えるのが文化的な生活ではないという基本的な価値観につながることで、方法論だけの議論ではなく人間の生活ということからきちんと方向性を決めることが大切だと思う。

- ・現場の作業員の方お疲れ様です。ありがとうございます。文化都市がまくらがきれいな町であることを希望する。

- ・私は戸別収集は良いと思う。説明会に「袋が有料になり詳しく聞かない」と思って参加したが、市役所の人に文句を言う場になって途中退場した。奥深いところの問題があると思った。説明会の参加者は分別をある程度きちんとしていると思う。だから意見があるのだと思う。分別をしていない人はまだまだたくさんいる。まずはゴミの分別を徹底するようゴミの収集所に立ち注意するなど対応してはどうか。



⇒ご指摘のとおり、ごみの減量、分別の徹底がまだまだ必要な地域もあることから、地域の推進員の方々とクリーンステーション前での立ち番を実施してきましたが、家庭系ごみの組成調査では、重量ベースで約25%、見た目は約半分、本来資源化できるものが混入しているところ。今泉クリーンセンターが平成27年3月末で焼却停止となる中、本市にとってごみの減量は喫緊の課題となっています。

- ・カラスの被害が一番ひどい。ゴミが荒らされると、近所にご迷惑がかかるので早目の回収をされたい。
- ・有料化はやむをえないが、全域一斉の戸別収集は再考してほしい。経費増額4億3千9百万円もかけて戸別収集に切り替える必然性は理解し難い。4億3千9百万円は将来の新焼却施設建設の資金として、「基金」を設けて別途積立てられたい。



⇒戸別収集・有料化については、これまで様々な機会を通じて説明をしてきましたが、戸別収集・有料化の制度内容、本市のごみ処理行政の現状や課題について十分に理解されていない状況となっています。戸別収集・有料化はごみ減量のために必要な施策であり今後ともその必要性について説明していきます。有料化による処理手数料収入の使途については、新焼却施設建設への基金に積み立てというご意見を多くいただいております。手数料の使途については一般財源に充当するのではなく、ごみの発生抑制や将来の新焼却施設の建設等広く環境に寄与する施策への充当を検討していくとともに、「見える化」していく必要があると考えています。

- ・戸別収集に切り替えても、カン・ビン、ペットボトル、紙類等は現行のクリーンステーションに持ち込むので、高齢者世帯等の負担軽減は限定的。
- ・戸別収集によってクリーンステーション周辺の美化は図れても、まち全体の美化が図れるか極めて疑問です。
- ・《説明会資料2》名越クリーンセンター一元化に伴う経費(2千6百万円)は、戸別収集の経費にも計上する必要があると考える。ごみ収集の有料化と財政措置の「見える化」・条例に「将来の新焼却施設建設」を明文化を希望。併せて、《説明会資料2》によると、ごみ収集有料化によって約7億5000万円の歳入増となっています。この収入は「基金」を設けて積立てよう、条文に明記し「見える化」を図ってほしい。



⇒戸別収集の経費については、当初から名越クリーンセンター1か所に搬入して試算しています。有料化にともなう手数料収入の使途については、新焼却施設建設への基金に積み立てというご意見を多くいただいております。ご指摘のとおり、処理手数料の使途について市民のみならず「見える化」していくことが必要だと考えております。

- ・文言「減免措置」は、「負担軽減措置」の方が適切であると思う。「減免」は、軽減と免除を意味しており、「免除」は「租税を減免する」(広辞苑より)など、本来、果すべき義務、責務などを果さなくてもよいと許す(小学館 類語辞典より)場合に用いられると理解している。「有料化」を「課税」と同等に取扱うのは行き過ぎと思う。



⇒ご指摘のとおり、辞書では「租税を減免する」という意味で「減免」となっていることは認識しております。既に、粗大ごみや臨時ごみ処理手数料については、有料とさせていただいており、天災等における措置として「減免措置」とらせていただいております。こうしたことから、今回についても「減免措置」とさせていただいております。

- ・紙おむつは戸別収集扱いになるのか。その際、指定収集袋を使用するのか。
- ・1つのクリーンステーション・エリアを地域社会の最小単位と捉えて、ごみ問題の取組み方を契機として話し合い解決を大切に、住民力、コミュニケーション力を醸成する方向に発展させていくことが望まれる。

- ・資源ごみは今まで通りゴミステーションに出すことになっているがこれも戸別収集に出来ないのか。藤沢では実施しようと計画しているようだ。出来ないのであれば、有料化(ゴミ袋)のみを行い戸別収集はやめ、従前通り個々がゴミステーションに持っていきければいいと思う。



⇒戸別収集はクリーンステーション収集に比べてコストがかかることから、有料化品目とカラス被害の多い容器包装プラスチック、燃えないごみと同じ日に排出していただく危険・有害ごみを予定しています。戸別収集・有料化については、これまで様々な機会を通じて説明をしてきましたが、戸別収集・有料化の制度内容、本市のごみ処理行政の現状や課題について十分に理解されていない状況となっています。戸別収集・有料化はごみ減量のために必要な施策であり今後ともその必要性について説明していきます。

- ・事業所のゴミについては、事業所で処理をさせる。
- ・人口が増加していった場合、個別収集・有料化をしても結局ゴミ処理場のキャバが足りなくなると思う。そうであれば逗子・葉山・藤沢と近隣地域との広範囲な協力体制を再度構築するべき。
- ・ごみ処理は市政の最低限の行政項目です。他の予算を大幅にカットしてでも実施しなければいけない項目で最重要課題である。松尾市政としてこの問題をもっと検討すべきである。たとえば観光客のゴミが増えることに対する対策はあるのか、回答ほしい。観光客に対する美的問題などはもっとも後回し。住民税を支払う住民のことを考えるのが市政。鎌倉のような観光客の流入が他市より多いところは、観光客への配慮を考えることは意識改革でやめる。国が考えること。国に要望すべき。もしくは受益者の神社仏閣に負担してもらう。



⇒観光客のごみについては持ち帰ることを原則としており、これまでも観光パンフレットにごみの持ち帰りをPRしていますが、今後とも様々な機会を捉えて啓発してまいります。

・他市に外注することができ、その費用が低ければそれを選択すべき。回答ほしい。



⇒ごみ減量についての施策を行わず、コストだけを見て他市に処理を委託することは、そちらにお住まいの住民の皆様のご理解を得ることが難しいと考えております。

- ・焼却の際に発生するエネルギーを蓄電器に蓄え、それを市内のスタンド経由で市民に安く提供したり、発電・売電したりする。そしてこれらの電力を活用して、これからの高齢化や自動運転化を踏まえ電気自動車も普及させる。あるいは、鎌倉市では家庭用これららの電気を併用することで、家庭の電気代を減らしたかどうか。また、ごみを減らすと消費財が売れなくなる可能性があり、経済の悪化をかんがみて、全体の廃棄の量は変えず、焼却分を減らして、その分の再利用化を進めてはどうか。

- ・有料化されると不法投棄が増えると思う。そうさせないための監視をお願いします。
- ・落ち葉のたき火を許可して欲しい。日本には灰を有効活用できる文化があり、鎌倉ではそれを進めて欲しい。ゴミ袋に入れることに抵抗がある。



⇒たき火は、現在、法令により原則禁止とされています。本市では、落ち葉は、植木剪定材の日にお出しただけであれば、堆肥として資源化しております。

- ・有料化は賛成だが、戸別収集は愚策の最たる手段で絶対反対。現在、カラス対策のため住民で相談して金網を用意し、場所設定もして、数か所順番に回して大変うまくいっているの、なぜ戸別収集にするのか理解できない。カラス対策、交通の危険性の方がマイナス。減量のための市の広報活動が弱く、市民の理解を得るのが先である。止めてほしい。

- ・隣接市ではすでに有料化されており、鎌倉市での有料化も仕方ないと思うが、有料化に至る経緯などさらに市民に周知していくことが必要と思う。
- ・ごみの半減化の運動が一つのピークをなした、2002年度に地域の自治会長をしていた時から、鎌倉市のごみ問題に関して関心をもって見守ってきた。当時、自治会の会合に市の担当者に来てもらったり、ごみ処理機を地域で販売したり、小売店の店頭でチラシを配ったりした。市と市民がタイアップしていた時に比べ、現状は盛り上がり欠けていると思う。地域(腰越地区)の説明会に出席したが、男性陣の理屈の上での戸別収集への反対意見が目立ち、主婦の意見はほとんどなかった。戸別収集は、スタートすると後戻りはできないので、残された時間を慎重に取り組んでほしい。市長に市民へごみ問題の深刻な現状を再認識してもらうよう、市を挙げて、市長を後押しして訴える努力すべき。市の職員の70%は、鎌倉市民ではないですね。

- ・早急に焼却炉の新設をしてほしい。候補地の反対が出るので小型焼却炉数基の検討が良いと思う。
- ・市財政逼迫の折、既存施設(H27年度以降は名越のみ)で凌ごうとする市の方針に賛同。
- ・生ごみの有料化に賛成。私はほとんどの生ごみを自宅庭で処分している。無料のため多くの家庭が無分別・安易に排出しているので、有料化により排出量は大幅に減ると思う。
- ・長期的には、効率面から近隣市町との広域化が不可欠と思う。
- ・有料化に対する意見募集(パブリックコメント)ですが、説明会では質疑の時間が足りない場合が多く、「何でも意見を書いて欲しい」と市担当者は言っているが、どのような扱いになるのか説明はない。このパブコメの提出先は環境部資源循環課で、このアンケートは秘書広報課で相互の関係の説明がない。全く独立したアンケートならば、この質問9に対してかなり長文の意見を書くことも、やぶさかではない。戸別収集・有料化の後に、新焼却炉の立地問題が控えている。広聴の長期計画を教えてください。



⇒パブリックコメントについては、皆様からいただいた意見の概要を整理し、それぞれの項目ごとに市の考え方等をお示しします。新焼却施設建設については、基本構想を今年度策定し、今後、来年度にかけて用地選定を含めた基本計画の策定をしていきます。名越クリーンセンター延命化工事後、稼働は10年を予定しているの、新焼却施設は平成37年度を目途に建設していく必要があると考えています。アンケートについては、毎回、そのテーマを所管する担当課が質問項目を作成し、いただいた全回答を受けてコメントを作成しており、全ての内容について両課で連携し、共有しています。



・戸別収集・有料化の全市実施の予定を平成25年10月からどうして変更したのか。各戸への通達が不十分とのことですが、理由にならない。
⇒H23.6に策定したごみ処理基本計画(中間見直し)では、H25.10から戸別収集の全市実施、H26.4から有料化の実施を予定していましたが、H23.10に廃棄物減量化及び資源化推進審議会に戸別収集・有料化について諮問し、議論を行う中で同時実施が望ましいとの答申を受け、実施時期を変更しました。

- ・有料になると不法投棄も心配になる。
- ・戸別収集・有料化も導入することに異論はないが、戸別収集に人件費と車両代などに莫大な金がかかることに問題がある。有料化の利益は次期焼却施設の資金にすべき。
- ・観光客が出すゴミ(鎌倉市の店が売って出たものを含む)がどの程度なのか気になる。この事業ゴミへの処分料を重くすることで、観光客からの実質的な税金にすると共に、ゴミの減量に向かったらどうか。



⇒観光客が出すごみは事業系ごみとなります。飲食店のうちどこまでが観光客が飲食したごみで、どこまでが市民が飲食したときにでるごみかは判別することは困難です。一つの目安として、市内7カ所に設置している拠点回収箱を観光客から排出されたごみとした場合、年間約70tと推計しています。

- ・有料化・戸別収集に関しては異論ありませんが、減量についてはかなり厳しいと考える。各自の心掛けに訴えるしかないのではないかと。
- ・1ヶ所は2重化(安全対策)無しより非常に心配である。最近の大災害対策に無防備と考える。
- ・有料化は大賛成。金額はごみを減量化したいと感じる高さにし、累進従量制にする。不法投棄の厳罰、厳重取締り。サービスの競争原理を導入して、業者を選べるようにする。
- ・減量対策の一環として戸別収集・有料化をめざしているが、「ごみを出した人」は明確になるがそれが減量になるとは思わない。当初は意識的に減つても長続きはしない。消費税も8%になるうにこのような「有料化」は反対です。市民の同意を得るとは思えない。もっと抜本的な対策を講じなければ解決しない。小手先の削減程度に思えてならない。たとえ「戸別収集」に移行しても、1箇所での焼却ではバンクするのは時間の問題だ。
- ・今泉クリーンセンター閉鎖にともない、名越クリーンセンターへの集約への不安がいまだに払拭されない。8千トンのごみ減量が不調となった場合の対応や減量の継続性、名越の将来の老朽化への対応等の将来プランがあまり見えてこない。



⇒名越クリーンセンターは延命化工事後、約10年の稼働を見込んでいます。そのため、名越クリーンセンターに替わる新焼却施設の建設に向け、来年度にかけて基本計画の策定を進めているところです。また、現在進めているごみ減量施策に加え、民間の資源化施設への処理委託についても検討をしています。

- ・説明会等で市の説明を何回か聞いたが、以下の点について今一説明が不足していると思う。
 - ・今回の施策の目的。削減は燃えるごみか、燃えるごみ+燃えないごみか、ごみ全体の発生を減らすことかなど。
- ⇒燃えないごみを有料化の対象としているのは、ご指摘のとおり、ごみ全体を減量することにあります。また、燃えないごみのうち、金属類等資源化できるものを選別した後のプラスチック等の残渣については、本市で焼却処理をしていることから、ごみの焼却量の削減にもつながると考えております。
- ・現状の鎌倉市にとって、目的を達成する手段として「有料化+戸別収集」でなければならない理由説明が不足していると思う。このため、説明会などで「他のxxという手段もあるが・・・」といった質問が多く出ていたと思う。市は、答申を受けて決定したと説明をするが、そこに至った協議内容や他の各種手段との比較検討結果等も経緯を説明してほしい。8月の大学の先生とのセミナーでも、「戸別収集を基本とした場合でも、ある程度まとまった地域でステーション収集方式を残すことは十分あり」とお話があったと思う。



⇒平成25年5月に作成した「ごみ処理基本計画(中間見直し)再構築」では、焼却量を3万トン以下にするため、8,000tの減量施策を掲げています。8,000tの削減に向けた取り組みとして、戸別収集・有料化で3,500t、事業系ごみの分別徹底及び処理手数料の改定により2,500t、その他、発生抑制への取り組みで1,500tとさまざまな施策を組み併せて減量に向けて目指しております。計画の作成にあたっては、鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会に諮問し、答申をいただいておりますが、審議の詳細についてはホームページに議事録として公開しております。

- ・説明会等では、「今泉の停止」をメインに説明しているようだが、目的が「燃えるごみの削減」のように聞こえる。この場合、有料化・戸別収集の対象に燃えないごみを含めている理由の説明が不足していると思う。



⇒ご指摘のとおり、「燃えないごみ」の有料化については、ご質問いただくところで、説明不足で申しわけありません。ごみそのものの減量を目指すとともに、燃えないごみの中で資源化できない残渣については焼却処理をしていることから、有料化の対象としています。

・説明会資料で、将来的には鎌倉市内に焼却場を新築するとの記述があったと思う。多分、何回かの説明会で「ゴミ対策の最終形を示して、その過程の中で今回の施策がどの段階での施策になるのか知りたい」という旨の要望があったと思うので、それに対する1つの回答かと思う。ただ、これまで何十年も協議し、いまだに決定できないのに、今後10・20年で場所の決定から新築までできるとはとも思えない。せめて、議会に対策案を提出される段階では、候補地を2・3に絞り込みかつ、候補地の開発を候補地決定まで凍結するような内容を含めるべきと思う。

・説明資料の中で、「要望によっては、ステーション収集地区を残すことも考える。但し戸別収集も実施した場合と同じ効果が期待できる場合に限る」との記述があったが判断基準があいまいで全然わからない。多分、ステーション収集を希望している地域では、分別率も高い地域だと思うられるので、削減率という指標では、他地域に比べて低くなると思う。また、分別率を指標にすると「有料化＋戸別収集」を実施しても効果が上がらない地域に対する対策が必要になると思う。

- ・ゴミの減量の対策として、戸別収集・有料化は解決にならない。戸別収集にかかる費用と、住民・業者の負担が大きすぎる。その費用があれば、別の対応策を考えるべき。戸別収集以外の方法を行うなら、有料化をしてもよい。学校など公共機関のゴミが多すぎるように思う。
- ・戸別収集の実施前に、クリーンステーション収集では、家庭系ごみ削減目標3,500トンの達成が可能か否かを実証し、関係情報を住民に公開されたい。
- ・ゴミ袋の有料化だけで削減はできないのでしょうか？普通のゴミだけ戸別収集、資源ゴミは従来どおりクリーンステーションで収集では意味がない。鎌倉市は道が細いところも多々あるので収集業務が大変になるだけではないか。
- ・戸別収集、有料化をした場合、赤字になるとのことだが、財政が厳しい中、赤字をなくする方法はないのか。
- ・ごみ処理の有料化や記名式は致し方ないが、各家の前にゴミ袋を置くことには抵抗がある。ゴミ収集車が来るまでの朝の数時間は見苦しいと思う。これまでどおり集積場所に置くのはなぜだめなのか。



⇒戸別収集・有料化については、これまで様々な機会を通じて説明してきましたが、戸別収集・有料化の制度内容、本市のごみ処理行政の現状や課題について十分に理解されていない状況となっています。戸別収集・有料化はごみ減量のために必要な施策であり今後ともその必要性について説明していきます。



- ・ごみの減量は必要だが、今泉クリーンセンターは焼却停止でなく、場の有効活用ができないか。
- ⇒今泉クリーンセンターの焼却については、地元町内会とのお約束で平成27年3月末で焼却停止となりますが、ごみの搬入施設等、ごみ処理施設の機能の一部は今後も活用していきます。
- ・生ゴミ等の戸別収集・有料化はよいが、狭い道路上に戸別にゴミ容器を置くとなると、交通の邪魔になるのではないかな。容器がなければ鳥の被害が再び広がり、その対策を事前に立てる必要があると思う。
- ・昨年、小坂小での説明会の際、有料化についての基本的に賛成の意思を表明して質問をした際、役職者が「考えていない、決まっていない」といった趣旨の回答をした。実態は、1年も経ずに「有料化」の表明がされている。欺瞞とも捉えられるお役所意識で職務を実施している限り、施策はうまく行かないと考える。ごみ問題についても、市民に対して真摯に意見交換をしていく姿勢こそが必要である。



⇒小坂小での説明会の時は、戸別収集・有料化について廃棄物減量化及び資源化推進審議会において議論している最中であつたことから、そのような発言となっていました。ご指摘のようにごみ問題については市民一人ひとりが関わる問題であることから、市民の皆様への十分な周知と理解が不可欠であると考えています。

- ・戸別収集にすると確実にごみは減少すると思う。また、粗大ごみのリサイクルも実施してほしい。
- ・個別収集を早く進めて、ゴミ処理にかかる費用に関する意識を高めることが重要である。
- ・議会で否決されたようだが、方針を変えず、根気良く有料戸別収集に向けた理解への努力を継続してほしい。
- ・読売新聞で三浦半島4自治体の連携の記事を読んだが、「ゴミ処理の協力」をしてはどうか。
- ⇒平成10年にごみ処理広域化計画として、横須賀三浦ブロックごみ処理広域化計画が策定され、4市1町（横須賀、三浦、逗子、鎌倉、葉山）でごみの広域化処理をいく予定でした。その後、平成17年度になって、4市1町から逗子市との2市での広域化を検討してまいりましたが、逗子市、鎌倉市それぞれで焼却施設整備を行うことを今年度確認したところです。



- ・我が家は全員で、ゴミの分別化を徹底している。プラスチック容器も全て洗浄して、それをさらに細かく切り刻んでコンパクトに纏めて収集所に出している。全世帯が我が家と同じ意識でゴミを出していないことは分かるが、ここまで協力的にしている、有料化になることは大変悔しく思う。
- ・ごみ処理の減量化を進めるのは非常にいいと思うが、市の様子を見ていて、「何となくどうでもいいや」というような消極層をうまく周知させていないと思う。今後は、そうした人や転入者向けに分別をすすめるための説明会を開くべき。



⇒本庁舎で転入手続きをとられた方については、資源循環課窓口にお越しいただき、本市の分別等についてご説明させていただいています。ご指摘のとおり、消極層への啓発・周知をどのように図るかということは大きな課題だと認識しております。

- ・38,000トンは現状2基のゴミ焼却量だが、家庭系ゴミ焼却必要量は26,000トンとなっている。残りは産業系・観光系ということであれば以下の論議はどうなっているのか。
- ・家庭系・産業系・観光系のゴミ種別と発生量（現状・将来）を把握しないと3R・焼却設備（種類・規模etc）の検討方針が明確にならないと思う。



⇒平成24年度末現在のゴミの焼却量は38,000tとなっており、内訳として家庭系ごみは約25,000t、事業系ごみは約13,000t、事業系ごみのうち約70tが観光ごみになります。ごみ処理基本計画の策定の際には、将来の人口推計、ごみ・資源物ごとの発生量等を推計しています。

- ・他市へ処理委託するための費用負担として戸別有料化を志向するのであれば、発生源負担割合をどうするのか、新規焼却設備導入迄の負担か、どの位の負担が続くのか、費用以外の協力負担はどうかを誰もが納得できる検討をしているか。



⇒有料化によるごみの減量効果を担保するために、排出者が明確になる戸別収集を導入することを予定していました。他市への処理委託するための費用負担を賄うために、戸別収集・有料化を導入するものではありません。

- ・SB（設備更新）のリスク把握はなぜ検討が遅延したのか。自分達の町を綺麗に維持する費用を各自で負担することはやぶさかではないと思うが、焼却設備が止まって焼却できないという現実だけで8,000tonの減量化が目的なのは筋違いと感じる。



⇒焼却施設の建設については、平成10年度以降、ごみ処理の広域化計画を進めてきたところで、市内に焼却施設を建設しない方向でした。しかしながら、ごみ処理の負担役割の考え方の違いから、それぞれの市域内で発生したごみの焼却はそれぞれの焼却施設で処理することとなりました。

- ・事業系は有料のごみ袋を購入しているが費用が高く負担が大きい。一部の従業員は一般家庭ごみに出しているのを市として対応を徹底してほしい。不公平感、迷惑、夜中にゴミを出されるので不快感を感じる。有料化にすればゴミの量は軽減されるだろうが収集場所に車で持ち込んだゴミを捨てる人（特に藤沢市民）に何度も遭遇するので、それに伴う弊害も大きいと思う。
- ・家庭系ごみ収集を有料化して、減量化できるか実行してほしい。ただし、正確にデータを取って第三者グループによる効果分析を公開し、もし2・3年実施して効果がないと評価された時は、再度議論する。減少するまでの間は、近隣自治体と連携し、新規にゴミ焼却施設の増設は避けほしい。
- ・ごみの戸別収集によるクリーンステーション撤去は、世界遺産を目指す鎌倉市としては良い選択だと思うが、クリーンステーション周辺の片付けや出しに行く時に周辺住民との交流が激減するのは残念です。また、戸別収集の方法で、狭い道は収集車が進入できず、広い道でも収集車が複数回ストップ＆ゴーを繰り返すことによる排気が大気環境に良いとも思えない。基本的には賛成ですが、細部をもう少し検討してほしい。
- ・植木剪定材や落ち葉は、鎌倉ならではの廃棄物です。外部へのアピールも含めて、堆肥化だけでなく、もう少しお金をかけて、バイオマス発電等の自然エネルギー化を見据えた施策を期待したい。



⇒ご指摘のとおり、植木剪定材は鎌倉ならではの廃棄物だと認識しております。現在検討している新焼却施設は、サーマルリサイクルを予定していることから、植木剪定材の資源化のあり方についても堆肥化がよいのか、サーマルリサイクルがよいのか検討していきます。

- ・事業委託などにより、地域ごとに早朝から夜まで随時ごみの持ち込みができるステーションや定期的に巡回回収車が待機すれば便利。戸別回収になった場合、長時間ごみが玄関前に置いてあると鳥などの被害により、ごみが散乱した状態は避けたい。
- ・戸別収集は、各家の前にごみが置いてある状態に不安を感じる。猫やカラスなどの被害も、各自自治体で対策しているが、それを各自宅でやるのか。奥に入った狭いところも、一軒一軒まわるのか。収集が午後の場合もあり、家の前に半日以上ごみが置いてあると、あまりいい気分ではない。夏場は悪臭が漂う。長期的に鎌倉の世界遺産登録に向けて取り組んでいくようだが、その意識をもちより良い街づくりのために一緒に考えていきたいと思う。
- ・「ゴミを分別しない、ゴミ出しルールを守らない、その上、有料化には反対」という身勝手な意見を言う住人にはペナルティを課するような政策をとって欲しい。このような住民は、まじめに分別している住民から見れば単なる「わがままな子供」にしか見えない。
- ・不燃ごみの収集が月に1回なのは不便。また、市の都合で樹木を植えさせられているにも関わらず、剪定材をごみ出すときに使う袋やひもなどを各自で負担させられるのはおかしい。市が配布するか、集積場を作って欲しい。



⇒不燃ごみの回収を隔週収集することについて検討しましたが、現行の年間12回から年間26回となるため、収集経費が今の倍以上になることから、断念したところです。また、植木剪定材への分別にご協力いただきありがとうございます。ご意見として受け止めさせていただきます。



・事業系ごみの削減について市側が具体的行動がとれていないのではと思う。

⇒事業系ごみの削減に向けた取り組みとして、平成25年1月から搬入されたごみの分別指導の強化を実施しており、一定の削減効果がでております。



《資源循環課》

多くのご意見をいただき、ありがとうございます。

戸別収集・有料化については、これまで様々な機会を通じて説明をしてきましたが、戸別収集・有料化の制度内容、本市のごみ処理行政の現状や課題について十分に理解されていない状況となっています。戸別収集・有料化はごみ減量のために必要な施策であり今後ともその必要性について説明していくとともに、ごみの減量、資源化に取り組んでまいります。



《資源循環課》

戸別収集・有料化の導入をはじめ、ごみ施策は、市民の皆様一人ひとりに関わる施策であることから、市民の皆様への情報提供、啓発等を十分に行う必要があると認識しております。

そのため、広報かまくら、ホームページをはじめ、ポスターやチラシの掲示等様々なツールを用いて周知に努めてまいりました。

このたび、e-モニターの皆様へのアンケートを通じて、周知の状況や有効な周知媒体を把握することができました。

また、戸別収集・有料化をはじめ、ごみ処理施策についても数多くのご意見をいただきありがとうございます。

新焼却施設の建設についても多くのご意見をいただいたところですが、平成25年8月に基本計画策定に向けて廃棄物減量化及び資源化推進審議会、生活環境整備審議会にそれぞれ諮問しております。

今後も、ごみ処理施策の進捗状況について、さまざまな場面で捉えて周知、啓発に努めてまいります。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。

環境部 資源循環課

【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

TEL 0467 (23) 3000 内線2505

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp